

# くまもと農地GIS利活用DX推進事業 (うち施設情報整備事業補助金)

## <事業目的>

農業水利施設等のきめ細やかな長寿命化を図り、農業水利施設等の地理情報システムへの搭載を支援します。

## <背景／課題>

- ・ 農業水利施設等の管理者は、管理する施設等の情報が多く、補修や更新が必要な施設の把握が困難な状況があります。
- ・ 正確な情報を管理していなければ、保全対策のタイミングを逸し、災害被害や事故発生のリスクが高まり、結果的に管理コストが余計に必要になることが想定されます。

## <事業内容>

人・農地プランが実質化されている地域又は実質化に取り組む地域の農地を受益農地とする農業水利施設等(※)の施設諸元情報、受益農地情報及び背景地図の地理情報システムへの搭載に要する経費の助成

※「農業水利施設等」には、農業水利施設のほか、農道、集落排水施設、営農飲雑用水施設、地すべり防止施設、農地海岸保全施設が含まれる。

## <事業実施主体>

県、市町村、土地改良区その他の農業者等の組織する団体

## <補助率>

国 1/2

## <実施要件>

農業水路等長寿命化・防災減災事業実施要綱第5に定める長寿命化・防災減殺計画を作成していること。

【お問い合わせ先：技術管理課 農村情報企画班 096-333-2425】

# くまもと農地GIS利活用DX推進事業（うち施設情報整備事業補助金）

## ＜現状・課題＞

施設管理者  
(市町村・土地改良区等)

- ・管理する農業水利施設等情報が多数
- ・どこにどのような施設があるのか把握が不十分
- ・補修や更新が必要な施設が不明な状態



### 農業水利施設等



保全対策のタイミングを逸し、  
**災害被害や事故発生リスクが高まる**  
→管理コストが余計に必要なになる

## ＜実施内容＞

国費 50%補助

施設管理者（市町村・土地改良区等）

- ・人・農地プランが実質化されている地域又は実質化に取り組む地域の農地を受益農地とする農業水利施設等を調査し、情報を一元管理



GISを利用し、  
関係情報と位置情報を紐づけて管理

### ＜GIS利用イメージ＞



## ＜今後の展開＞

- ・関係機関と情報共有
- ・適切な時期に点検・保守・補修・更新を実施

**施設の長寿命化  
災害被害及び事故防止  
未整備地区での整備検討**

(GIS活用例)



施工後40年以上経過した施設を抽出  
→ 更新を検討・実施